

# 小学校英語教育実践プロジェクト

団体名 ● KSCG, Kanazawa Seiryō Crossover Generation 英語教育チーム

代表者名 ● 田中富士美 (人文学部国際文化学科・教授) ● 前田昌寛 (人文学部国際文化学科・講師)

## はじめに

このプロジェクトは2018年度、人文学部田中富士美ゼミが3年次に行なった「キッズサマーキャンプ2018 in くまの」との小学生英語教育でのコラボレーションを基とする。本学の能登における地域連携は様々な形で実施されている。これは、人文学部の学生の特性といえる「英語力」「異文化への寛容性」を、留学を経験した後の学生が小学生に「伝える」ことを形にするプログラムとして、志賀町のくまの地域づくり協議会との連携関係から生まれた。翌年の2019年夏は、「継続性をもって実施を」との積極的な事業推進の言葉を再度頂戴し、2、3年生(当時)が人文学部の新たな活動団体 GLS(Global Language Support)を発足、通訳ボランティア、異文化交流、国際問題研究を中心とした活動の中に英語教育プロジェクトチームを編成し、この志賀町における活動を再開する運びとなった。前年同様、人文学部生の英語スキルが活かされ、且つ志賀町の小学生に夏休みの英語学習を提供できる相互協力の場として実施された。2020年度はコロナ禍において申請を断念したが、2021年度はGLSを発展させ大学の学生団体として改変したKSCGがこの活動を担うこととなった。

## 活動内容

今年度、スケジュールを8月に設定したが、状況が許さず、10月、12月と合わせて3度の延期を経て最後の実施予備日の1月23日が開催日となった。2度目の延期の12月26日実施仕様で学生たちが準備した農家民宿を開催場所としたプログラムは、以下の様式となっている。

目的：日常生活や映画における英語を目で見たり、耳で聞いて感じ取り、最後に英語で劇をすることで、英語を体現できるようになる

場所：農家民宿 古民家 栢

英語活動詳細スケジュール：

10:00 全員集合、活動開始

10:10 自己紹介・アイスブレイク・ご飯役割分担

11:00 お昼ご飯(ピザ作り体験)

12:00 昼食タイム

12:45 後片付け

13:15 映画鑑賞(ポーラーエクスプレスを見ます)

15:00 説明：劇について大学生によるプレゼン解説、役決め

15:30 練習開始

18:00 夕食タイム

18:45 後片付け

19:00 本番前最終打ち合わせ

19:30 舞台設営

19:45 本番 2部構成(10分ずつ)

20:15 終了

英語劇を作り上げるという大きな目標にむけて、アイスブレイクから丸一日かけて英語に親しみ、英語の熟達度の初歩の児童も馴染めるようにアレンジされたものである。しかしながら実施日となった1月23日はオミクロン株影響により訪問が困難となり、オンライン形式での実施という変更を7日前に余儀なくされ、学生たちは更なる創意工夫を要すこととなった。「世界探訪」を楽しむ、異文化へのいざないの中に英語をちりばめるものを準備した。フィリピン、シンガポール、UAE、オーストラリア、エジプト、フランス、イギリス、アメリカを「訪問先」に選んだ。



## 成果、結果の考察

まず小学生にとってはGoogle Earthを活用して各国の地理的な場所を知り、国の様子を見聞きする体感型学習の形をとった。これは「対面」を超えた「体感」の要素がある。内容における「国際共通語」としての英語の役割の認識は小学校における「外国語活動」の補強といえる。また日常の既知事項との連携として、どの国に行ってみたい?それはなぜ?と問いかけ考える機会を提供した。大学生にとっては、情報の取捨選択力、学びの「先輩」として小学生に分かりやすく伝えるスキルと、自己の体験を他者に語れるレベルの内省化を図る力を養い、さらには、交流の「時期」「形」とらわれない柔軟な姿勢を持って物事を完遂する場となった。

## 今後の課題

過年度と今年度の積み重ねを踏まえ、次年度以降も継続性をもって、この活動を実施していきたい。